

デング熱などにご注意を!



予防策は…「蚊に刺されない」「蚊を発生させない」

デング熱のほかにもマラリアやチクングニア熱など、蚊が媒介する感染症が発生しています。日本での流行を防ぐため、予防策などを確認しておきましょう。

対策① 蚊に刺されない

- ・肌を露出しない長袖、長ズボンを着用する
- ・素足でのサンダル履きを避ける
- ・白など薄い色のシャツやズボンを選ぶ(蚊は色の濃いものに近づく傾向がある)
- ・露出する部分には虫除けスプレーなどを使い、蚊を寄せ付けないようにする
- ・蚊取り線香などを使って蚊を近づけない など

対策② 蚊の発生を抑える

ヒトスジシマカは、狭い水たまりのような場所を好んで産卵します。



「この熱、デング熱かも？」

デング熱の初期症状はインフルエンザにかかった場合にもよく見られます(発熱、筋肉痛、関節痛など)。特に、蚊に刺された数日後にこれらの症状が出たり、加えて皮膚に赤い小さな発疹が見られたりした場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。

藤井寺保健所 ☎ 072-952-6165

環境衛生課 ☎ 072-958-1111 内線 2840

セアカゴケグモにご注意ください

排水溝や花壇、エアコンの室外機の裏、墓石周りなど、日当たりがよくエサとなる昆虫がいる場所に生息します。

見つけても素手で触らずに、靴で踏み潰すか家庭用殺虫剤(ピレスロイド系)を吹きかけて駆除してください。また、近くに卵があれば靴で踏み潰してください。

万が一咬まれたら、咬まれた場所を水で洗い流し、早めに医療機関で治療を受けることが大切です。

(その際は、咬まれたクモを殺虫して持参してください。適切な治療につながります。)



環境衛生課 ☎ 072-958-1111
内線 2842

藤井寺保健所 ☎ 072-952-6165

注意 肉の生食や加熱不足による食中毒が多発

「新鮮」なお肉だからといって、「安全」ではありません。新鮮でも、食中毒菌がついている可能性があります。お肉は中心部まで十分に加熱してください(中心部が75℃で1分以上)。

特に子ども、高齢者、抵抗力の弱い方は、食中毒になると重症化しやすく、死に至る場合もあります。お肉を生で食べないようにしましょう。



問い合わせ先

大阪府藤井寺保健所
生活衛生室 食品衛生課
藤井寺市藤井寺 1-8-36
☎ 072-952-6165